

<b>調査視察等の報告書</b>	
30年 12月 19日	
日進市議会議長 近藤 ひろき 様	
議員氏名 大橋ゆうすけ 印	
実施年月日 30年 7月 25日	行き先 三重県志摩市
目 的 「SDG s 未来都市」に関連する取り組みについての視察	
報告事項 ※報告事項については、別紙参照	
※別添資料 有	

## 調査視察地等の報告事項

### 日本政府に採択された志摩市の「SDGs 未来都市」の概要

今後取り組むべき課題を解決するために、特に2030年を目標として優先的に実現を目指す将来像を下記の3点のように設定しています。

1. 豊かな自然とともに暮らし続けることができるまち【環境】
2. 地域の伝統や文化を誇りとする市民がつながり暮らすまち【社会】
3. 地域の良さを活かした質の高い産業が営まれているまち【経済】

志摩市創生総合戦略では、この姿を実現していく上での志摩市の強みを「自然環境」、「食材」、「文化・伝統」、「人のつながり」、「観光」及び「景観」の6項目としていることもあり、この6つの強みを再度見直し、SDGsの側面に置き換え（【「自然環境」「景観」＝環境】【「食材」「観光」＝経済】【「人のつながり」「文化・伝統」＝社会】）取り組みをされています。

志摩市の地方創生においては、SDGsの理念を踏まえて三側面の連携を重視し、農林水産業や観光業などの基盤となる豊かな自然環境を保全し、農林漁業と観光業など多様な主体が連携して地域の経済循環を生み出しながら、住み続けることが出来るまちづくりを目指すものとなっています。

### 所感

この視察を通じて最も印象的だったことは、志摩市の担当室及び担当職員の熱心な姿勢でした。これまでの取り組みを踏まえた上で、SDGsを活用した更なる推進を図り、「持続可能なまちづくり」を実現しようと前進しているその思いと、日々の努力がとても伝わってきました。

志摩市人口ビジョンでは「市内の若者や高校生による検討」を行った上で、2060年における本市の将来の姿を「地域の魅力を生かした産業を基礎に～中略～美しい自然とともに生き活きと暮らしている。」と総括し、将来像を描いています。その上で「2030年のあるべき姿」の実現に向けた優先的なゴール（SDGsのゴールとターゲット）を明確に示すと共にKPIを設定し、より具体的に実施できるよう計画されています。この事は、日進市においても参考にすべき取り組み方であると感じました。

さらに、市内各計画についても目指す目標や具体的な取組内容、成果指標や目標値などについて、SDGsとの関係性を踏まえて検討を行うとともに、直接目標とする以外の目標の達成にどのように寄与するものかを明確にすることにより「各計画間のつながりが見える化」し、「連携を強化」するための見直しを「随時」進めています。

「日進市ESD推進基本方針」が志摩市同様に推進されるよう、「周知や実践の伴わない研修」ばかりでなく、全庁的に方針を再確認し、少しずつでも具体的に動く必要があると感じました。